

IGA 専門部会報告

2024 年 10 月 22 日
IGA 専門部会幹事会

1. 令和 6 年度事業報告・決算報告 別紙 1 のとおり。

2. IGA 専門部会会員数（2024 年 10 月 4 日時点） 117 名（2024.7 以後増減なし）

3. IGA 関連情報

(1) IGA 新体制に係る情報

- 本年 6 月に就任した新会長 Bjarni Palsson 氏の下で、理事会により 2025 年以後の活動方針や会員制度について協議されており、2024 年末までにまとめられる見込み。
- Sylvain Broglé 会長体制でのやや極端な商業的な活動方針よりは穏健となりそう。
- 2024 年の団体会員（Affiliated Member）の加盟費は、2023 年分と同額の請求があり支払った。
- 会員制度の変更では、団体会員の構成員が個人会員と同じ選挙権や便益を受けられることは無くなる予定。

4. アジア西太平洋地域支部（AWPRB）～アジア太平洋地熱協会（APGA）関係

(1) 幹事による会議実施（7 月 26 日、8 月 29 日、10 月 3 日：オンライン）

引き続き IGA から独立した組織（APGA）の設立に関する協議が行われた。

- ・定款（Constitution）（別紙 2）及び規約（Bylaws）の最終案が完成し、法務チェックを受けている。
- ・現案では会員制度は IGA に類似しており、日本地熱学会加盟の場合は団体会員（Institutional Member）になると思われる。団体会員は理事選挙で 3 票の投票権を持つ。団体会員の構成員は APGA 会員の資格を持つことになるが、個々人の便益などは未定。団体会員の加盟費は 200 米ドル／年程度の見込み。
- ・9 月 18 日のインドネシア地熱学会（IIGCE）で初めて設立の対外紹介があったが、当学会への設立通知・加盟依頼のレターは未受領。間もなく発出される見込み。
- ・2025 年早々に理事選挙を行うことが計画されている。

5. 協議事項

以上の状況を鑑み、以下事項について評議員会でのご承認をお願い致します。なお、本内容については国際交流委員会とも協議し、賛同を得ております。

- (1) IGA の会員制度は 2025 年より変更の見込みであるが、学会としての **IGA 加盟は継続**し、2025 年以降の IGA 加盟費は、IGA 専門部会の会費ではなく、**学会全体の予算から支出**することを前提として検討を進める。ただし、新たな加盟費がまだ不明であることから、何らかの変更が必要な場合は評議員会での承認を経たうえで対応する。
- (2) **APGA に学会として加盟**することを前提として検討を進める。ただし、APGA の各種規程や活動が未確定であることから、何らかの変更が必要な場合は評議員会での承認を経たうえで対応する。

- (3) IGA 及び APGA の加盟に関する学会での窓口は国際交流委員会とする。IGA 専門部会は廃止の方向で検討する。
- (4) (1)~(3)が承認される場合、本件について、学会総会での報告が必要であると考えます。こちらをご承認をお願い致します。報告資料の案を別紙3に示します。

【参考情報】

IGA の団体会員 (Affiliated Member) の加盟費は、当学会の場合現在 1,183 ユーロ／年であり、これまでは IGA 専門部会員から徴収した会費 (1,500 円／人年) で、学会全体の予算とは別途に支払っている。2025 年からの加盟費は未定であるが、IGA 事務局は 500 ドル／年程度が検討されているとの非公式情報があり、現在よりはかなり安価となることが予想される。

以上

【別紙 1】

IGA 専門部会

令和 6 年度事業報告・決算報告

2024 年 10 月 22 日
IGA 専門部会幹事会

1. 令和 6 年度事業報告

(1) IGA 関係情報

主な動き

- ✓ IGA 理事新体制による活動方針・会員モデルの変更等に係る協議
- ✓ 地域支部（アジア西太平洋地域及びアフリカ）は解散
- ✓ 2024 年 6 月 IGA 会長の交代
（Sylvain Broglé 会長辞任→理事会互選で Bjarni Palsson 氏が選出された）

(2) WGC 関連情報

- ✓ WGC2026 はカルガリー（カナダ）での開催が決定

(3) アジア西太平洋地域支部（AWPRB）関係

- ・ 2024 年 9 月時点で解散手続き継続中
- ・ 月例の幹事会参加（オンライン開催）
- ・ AWPRB の加盟国団体で IGA から独立した新団体 APGA（アジア太平洋地熱協会）を設立することとなった。2024 年 9 月にジャカルタ及びマニラの学会で設立の紹介があった。

(4) その他

- ・ IGA 関連国際学会等の部会員への案内
- ・ 学会 Web サイトの専門部会関係の更新

2. 令和 6 年度決算報告

別紙のとおり

3. IGA 専門部会会員数（2024 年 9 月末時点）

117 名（2023 年 9 月末より 2 名入会、2 名退会）

以 上

IGA専門部会報告 別紙

日本地熱学会IGA専門部会

2024年9月30日決算

令和6年度会計(令和5年10月1日～令和6年9月30日)

収入	前年度繰越金	317,282	令和5年9月30日時点の通帳残高 新規入会会員2名より 令和6年2月10日付及び8月10日付
	専門部会費	3,000	
	専門部会活動費	0	
	利息	21	
	合計	320,303	
支出	残高証明書発行(R5.9.30時点)	330	令和5年10月12日付 EUR 1,183.00+手数料¥4500 (R6.9.10)
	IGA加盟費2024振込み	192,987	
	合計	193,317	
差引残高		126,986	令和6年9月30日時点の通帳残高。 次年度に繰り越し

会費振込者			二瓶会員、今林会員
-------	--	--	-----------

【別紙2】

アジア・太平洋地熱協会（APGA）定款（Constitution）案の概要

団体の名称： Asia Pacific Geothermal Association Inc. (APGA)

団体登記国： ニュージーランド

管理組織： 委員会（Committee）を設置する。3～10名の委員（Officer）により構成。総会の議長を務める委員長（Chairperson）を選出する。

会員： 個人または各国の団体（national association）。各団体の構成員は自動的にAPGAの会員となる。

団体の目的：

- 地熱エネルギーの開発、および地熱エネルギーに関連する科学技術を促進・奨励する
- 加盟国間の地域協力を促進するための機関としての役割を果たす
- 地熱エネルギーに関わる人たちや、地熱エネルギーに関心を持つ企業団体にフォーラムを提供する
- あらゆる形態の地熱エネルギー、その恩恵・リスク・利用法・可能性についての情報を保有・入手可能にし、提供する
- 教育や研修を含むサポートサービスを実施・管理する
- この地域に共通する問題やトピックを発見し、解決策を見つけるための議論の場を提供する
- 地熱エネルギーに関連する事柄について、科学的、非営利、非政治的な意見を提供する
- 地域や国際的なフォーラムで会員の利益を擁護し、教育の重要性を強調し、地熱の探査・開発・管理の発展を促進する

団体会員加盟費： 200米ドル／年程度（未確定）

国際地熱協会（IGA）及び
アジア太平洋地熱協会（APGA）
への加盟について

【総会報告資料案】

報告事項の概要

当学会による国際地熱協会（IGA）及びアジア太平洋地熱協会（APGA、新規設立）への加盟について、10月22日開催の評議員会において以下の事項が承認された。

- (1) IGAの会員制度は2025年より変更の見込みであるが、**学会としてのIGA加盟は継続**し、2025年以降のIGA加盟費は、IGA専門部会の会費ではなく、**学会全体の予算から支出**することを前提として検討を進める。ただし、新たな加盟費がまだ不明であることから、何らかの変更が必要な場合は評議員会での承認を経たうえで対応する。
- (2) **APGAに学会として加盟**することを前提として検討を進める。ただし、APGAの各種規程や活動が未確定であることから、何らかの変更が必要な場合は評議員会での承認を経たうえで対応する。
- (3) IGA及びAPGAの加盟に関する学会での**窓口は国際交流委員会**とする。**IGA専門部会は廃止**の方向で検討する。

IGA加盟の継続(1)

IGAの概要 : IGA (International Geothermal Association、国際地熱協会) は1988年に設立された**地熱利用に関する国際組織**で、世界の多くの国の地熱学会が加盟。地熱の研究・開発・利用の推進のため、技術・学術情報やデータの集約、出版、普及、情報発信など行う。また、**世界地熱会議 (World Geothermal Congress)** を主催し、その他にも多くの国での地熱会議に協賛・後援等している。会員数は**約70ヶ国、約5,000名**で、各国の学会としての加盟は**31学会 (29ヶ国)** である。

経緯 : 当学会では、2003年に、海外との交流や情報交換に関心のある会員が集まり、**IGA専門部会 (IGAJ)** を設立し、**専門部会としてIGAに加盟**。専門部会員はIGAの個人会員と同じ資格を有しているため、地熱学会の会費とは別に**部会員のみ (現在117名)** から**会費を徴収して加盟費に充当**してきた。

IGA加盟の継続 (会員制度の変更に伴う加盟形態の変更) :

IGAの会員制度は2025年初頭より変更される予定で、団体会員の構成員は**個人会員の資格・便益 (理事選挙権やWGC参加費割引など)** を失うこととなる。一方で、団体会員の**加盟費は値下げされる見込み (現在は1,183ユーロ/年)**。そのため、学会としての**加盟は継続**するが、IGA専門部会員のみでの加盟費負担を取り止め、**学会全体の予算を充当**することを予定する。IGA専門部会は廃止の方向で検討を進める。

IGA加盟の継続(2)

国際交流委員会の役割：当学会での**IGA団体会員としての窓口**は、IGA専門部会に代わり、**国際交流委員会**とすることを予定する。学会会則によれば、海外学術団体との連絡は本来は国際交流委員会の所掌であるが、これまでのIGA加盟は一部の学会員によるものであったので、専門部会の設置により別会計も含めて対応してきた。加盟費を学会全体の予算で賄うことにより、加盟費の徴収や部会員の入退会手続きなどの事務作業は無くなることとなる。

IGA個人会員加入について：IGAの会員制度変更では、団体会員の個々の構成員は個人会員と同等の資格・便益を失うこととなるが、一方で、**IGA個人会員の加盟費は大幅に減額される**ことが予定されている。個人としてIGAとの関りを持ち、理事選挙権やWGC参加費割引などの資格・便益を希望する学会員には、学会とは別途に**IGA個人会員に加入することを推奨する**。



**THE GEOTHERMAL RESEARCH
SOCIETY OF JAPAN**
日本地熱学会



APGAへの新規加盟

APGAの設立：2023年のIGA組織改定の一環として、地域支部の一つである**アジア西太平洋地域支部（AWPRB）は廃止**が決定された。そのため、AWPRB参加各国の地熱学会により、IGAからは独立した**アジア太平洋地熱協会（Asia Pacific Geothermal Association, APGA）が設立されること**となった（2025年初頭に設立予定）。加盟予定国は、NZ・フィリピン・インドネシア・豪州等。当学会では、IGA専門部会からAWPRBの幹事メンバーを選出しているが、引き続きAPGA設立準備に係る検討に参加してきた。

APGAの活動：定款最終案によれば、団体の理念や活動はIGAに類似するようであるが、**加盟国間の地域協力に係る活動**（情報交換や技術Webinar開催など）は活発になると思われる。各国地熱学会の加盟費は200ドル／年が予定されている。

APGAへの新規加盟：

当学会としては、IGA専門部会としてAWPRBに参加してきた経緯もあり、参加が期待されていることから、**学会として加盟を前提として検討を進めたい**。加盟費は**学会全体の予算から充当**することを予定する。